

# 事業報告書

## 平成29年度

社会福祉法人 緑風会

特別養護老人ホーム 緑風館

緑風デイサービスセンター

小規模多機能「みどりの家」

居宅介護支援事業所 緑風館

緑風在宅介護支援センター

## 《 目 次 》

I	法人の概要	1~5P
II	介護老人福祉施設	6~21
III	短期入所生活介護事業	22~24
IV	通所介護事業	25~30
V	小規模多機能型居宅介護事業	31~34
VI	居宅介護支援事業	35~40
VII	在宅介護支援センター	41~43
VIII	地域交流実績	44~45

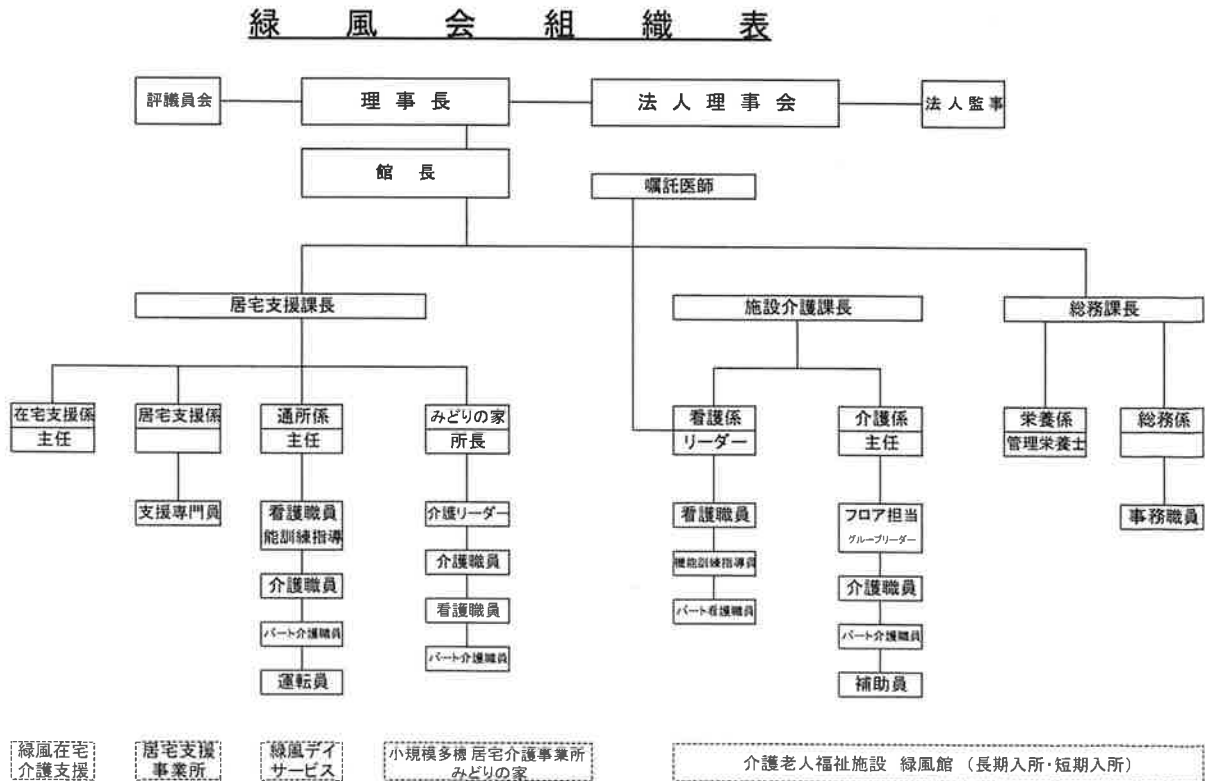
# I 法人の概要

## 1 名称及び所在地

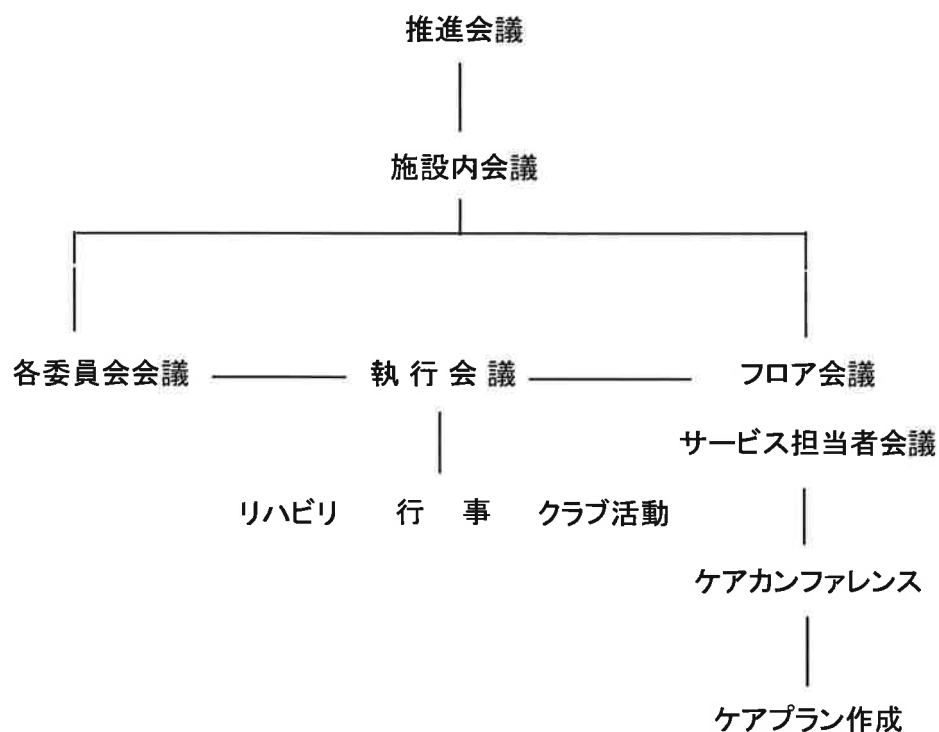
- (1) 名 称 社会福祉法人 緑風会
- (2) 所 在 地 兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
- (3) 法 人 認 可 平成6年2月7日

## 2 法人の組織

平成30年3月31日現在



### 3 業務の運営体制



### 4 職員の勤務体制

事務職員	日勤	A M 9:00 ~ P M 6:00
ケアワーカー	早出	A M 7:00 ~ P M 4:00
	日勤	A M 10:00 ~ P M 7:00
	夜勤	P M 5:30 ~ A M 10:30
看護職員	日勤	A M 9:00 ~ P M 6:00

## 5 職員配置

### [1]事業別職員配置

(平成30年3月31日現在)

区 分	介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 緑風館			通所介護 緑風デイサービス		居宅介護支 援緑風館		小規模 みどりの家		緑風在宅介 護支援セン ター		合 計		
	常 勤	非常勤	常 勤 換 算	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤	合 計 人 数
施 設 長	1		1									1	0	1
管 理 者						1		1				2	0	2
事 務 員	2	1	2.5									2	1	3
相 談 員	1		1	1						1		3	0	3
介 護 支 援 専 門 員	1		1			1						2	0	2
	<small>相談員兼務</small>													
ケアワ ーカー (うち介 護福祉 士)	18	16	27.7	3	4			4	8			25	28	53
	(15)	(2)	(15.7)	(1)				(3)	(3)			(20)	(5)	(25)
嘱 託 医 師		1	0.1									0	1	1
看 護 員	1	6	3.7	1				1				3	6	9
機 能 訓 練 指 導 員	1		1									1	0	1
栄 養 士	1		1									1	0	1
そ の 他		2	1.2									0	2	2
合 計	25	26	40.2	5	4	2	0	6	8	1	0	40	38	78

## [2]事業別施設外研修の実績

職員の資質の向上を図るため次表のとおり外部研修会に派遣した。

研 修 内 容	特別養護老人 ホーム緑風館	緑風デイサー ビスセンター	小規模 みどりの家	居宅介護支援 緑風館	緑風在宅介護 支援センター	合 計
ケアプラン関係	3		1			4
認 知 症	4				1	5
医療・レク・終末期 ケア	8	1	3	4	1	17
食事・給食業務	14		1			15
リスクマネジメント	4					4
行 政・保険・法改正	25	5		1	5	36
総 務 事 務	5					5
財 務 事 務	6					6
ケ ア マ ネ	4			33	13	50
資 格 取 得	14	7	1		6	28
福祉器具・施設見学	1	4				5
地域 サポート・ケア	15	3	1		13	32
サ ー ビ ス 評 価	8					8
人 材 育 成	4					4
そ の 他	2	1		1		4
合 計	117	21	7	39	39	223

## 6 29年度事業計画に対する実績(総務報告)

### 〔1〕収入状況

平成29年度は、長期入所の入院者及び退所者数が28年度に比べて減少し、特養(長期・短期)年間延べ利用者数が前年より264人増加した結果、収入額が前年より715万円増額となった。

緑風デイサービスでは、利用時間が長くなった利用者が多くなり、一人当たりの利用単価が増加及び、延べ利用者数が昨年より5.3%伸びた結果、前年より570万円の収入増となった。

また、居宅支援事業所緑風館では、介護予防の利用者増加により増収、また、小規模多機能型居宅介護事業所みどりの家では、重介護度利用者の増加と処遇改善の加算率が上昇したため増収となった。

以上により法人全体として、29年度は、前年より介護保険収入が1,594万円増とすることができた。

#### 【前年28年度】

区 分	利用人数	利 用 率	介 護 保 険 収 入	単 価
	① (人)	(%)	② (円)	②÷①(円)
特養(長期・短期会計)	24,837	97	279,034,441	11,235
緑風デイサービス	5,585	87	43,088,861	7,715
居宅介護支援事業 緑風館	1,458		15,632,780	10,722
小規模多機能型居宅介護事業	6,897	76	53,202,100	7,714
合 計			390,958,182	

#### 【29年度】

区 分	利用人数	利 用 率	介 護 保 険 収 入	単 価
	① (人)	(%)	② (円)	②÷①(円)
特養(長期・短期会計)	25,101	98	286,191,210	11,402
緑風デイサービス	5,884	76	48,865,660	8,305
居宅介護支援事業 緑風館	1,608		16,496,330	10,259
小規模多機能型居宅介護	6,290	69	55,359,590	8,801
合 計			406,912,790	
前年差額			15,954,608	

### 〔2〕情報の公開と機関誌発行

- ・ホームページのブログ等で最新情報や行事、初任者研修及び職員募集案内を発信した。
- ・現況報告書等(現況報告書、計算書類)の情報を公表した。
- ・施設サービスの情報や施設行事、各委員会等職員の取組みを「緑風だより」として年2回(9月・2月)発行した。
- ・ホームページにおいて、28年度の財務諸表(緑風だよりにも掲載)及び事業報告書を公表した。

### 〔3〕地域サポート型特養実施状況

見守対象者数(延べ人数)	独居高齢者 3世帯 3人
見守り電話	135件/年
訪問回数	115件/年
内容	・見守り確認 ・医療機関への付き添い ・買い物付き添い ・金融機関等へ送迎等

## Ⅱ 介護老人福祉施設

### 1 施設の概要

[1] 名称	特別養護老人ホーム 緑風館
[2] 所在地	兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
[3] 開設	平成6年6月20日
[4] 設置運営	社会福祉法人 緑風会
[5] 定員	60名
[6] 土地・建物	土地面積 2,742.36㎡
	建物構造 鉄筋コンクリート造り 3階建(一部4階)
	建物延面積 3,020.41㎡

### 2 入所者の状況

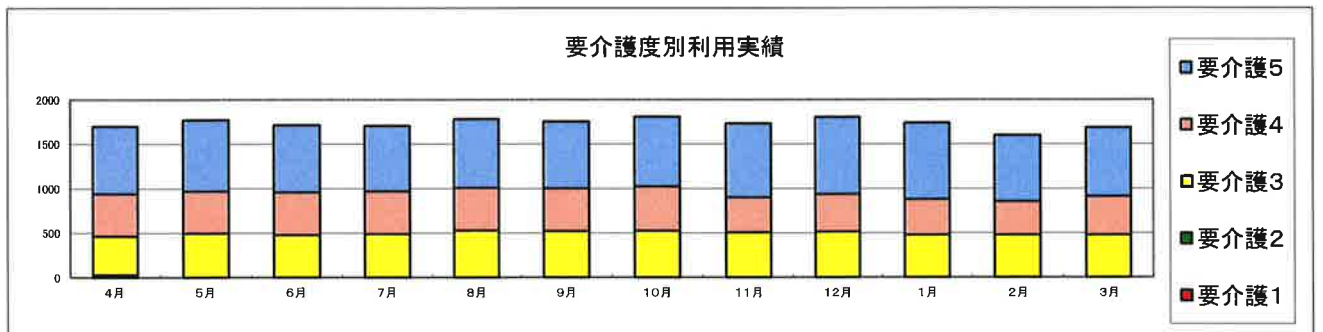
#### [1] 月別入退所者数

区分	6~28年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	29年度計	累計	男	女
入所者数	396	1	2	0	1	1	1	0	0	0	1	3	2	12	408	112	296
退所者数	336	0	2	0	2	2	0	0	0	0	4	2	3	15	351	101	250
月末 在籍者数		61	61	61	60	59	60	60	60	60	57	58	57				



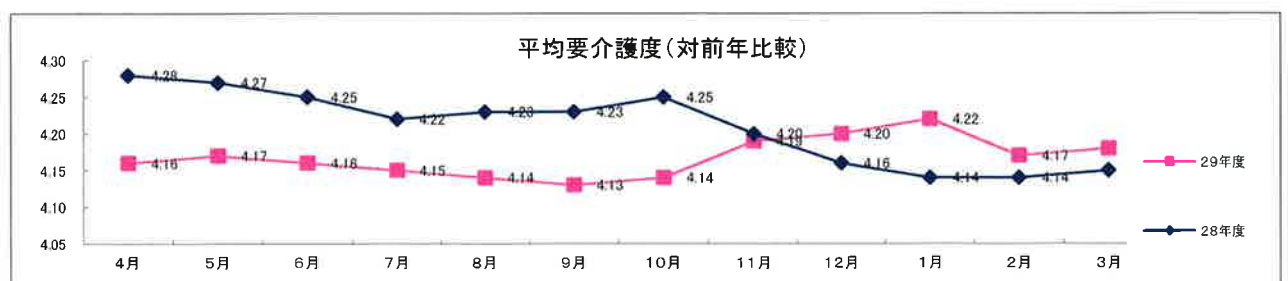
[2]要介護度別利用実績

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平成 29 年度	要介護1	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		延	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	人	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		延	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
	要介護3	人	16	17	17	17	18	18	17	17	17	16	18	19	207
		延	433	495	480	488	530	520	527	506	514	480	480	478	5931
	要介護4	人	16	17	16	16	16	17	17	15	15	15	14	14	188
		延	477	473	479	482	481	483	495	394	423	401	373	432	5393
	要介護5	人	28	29	28	29	27	25	26	28	28	30	28	27	333
		延	760	804	753	737	771	750	784	832	868	859	746	776	9440
	合計	人	61	63	61	62	61	60	60	60	60	61	60	60	729
		延	1700	1772	1712	1707	1782	1753	1806	1732	1805	1740	1599	1686	20794
	平均介護度		4.16	4.17	4.16	4.15	4.14	4.13	4.14	4.19	4.20	4.22	4.17	4.18	4.17



平均要介護度

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	4.28	4.27	4.25	4.22	4.23	4.23	4.25	4.20	4.16	4.14	4.14	4.15	4.21
29年度	4.16	4.17	4.16	4.15	4.14	4.13	4.14	4.19	4.20	4.22	4.17	4.18	4.17



〔3〕入所期間別状況

(平成30年3月31日現在)

区分	6ヶ月未満	6ヶ月以上 ～1年未満	1年以上～ 3年未満	3年以上～ 5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上	合計
男	2	2	4	1	2	0	11
女	2	3	16	15	8	2	46
合計	4	5	20	16	10	2	57

平均入所期間	3年4ヶ月
--------	-------

〔4〕年齢別分布状況

(平成30年3月31日現在)

区分	65～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男	2	0	1	5	3	0	0	11
女	1	2	8	10	14	8	3	46
合計	3	2	9	15	17	8	3	57

平均年齢	男性 84 歳	女性 89 歳	平均 88 歳
------	---------	---------	---------

最低年齢	69 歳	最高年齢	103 歳
------	------	------	-------

〔5〕身元引受人状況

(平成30年3月31日現在)

続柄	配偶者	子	孫	兄弟	甥・姪	成年後見人	その他	合計
人数	2	49	0	0	2	3	1	57

〔6〕退所事由別数調

区分	死亡		長期 入院	その他	合計
	施設	病院			
退所者数	5(3)	7	3	0	15

〔7〕入所前居住場所調

区分	在宅	療養 病院	老健 施設	療養型 施設	その他	合計
入所者数	5	4	3	0	0	12

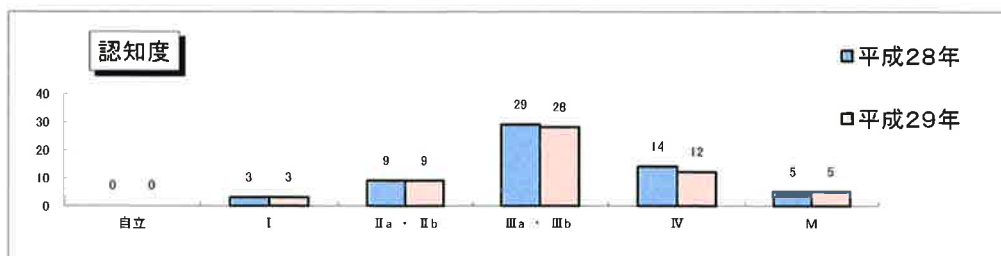
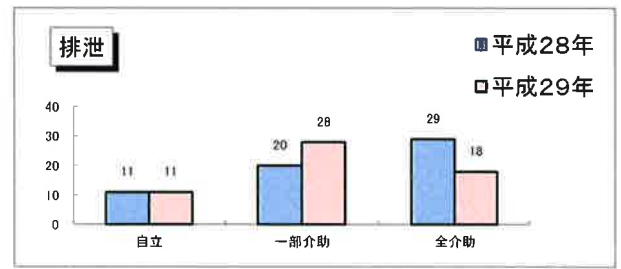
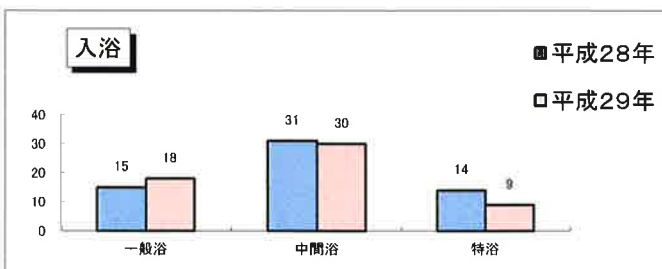
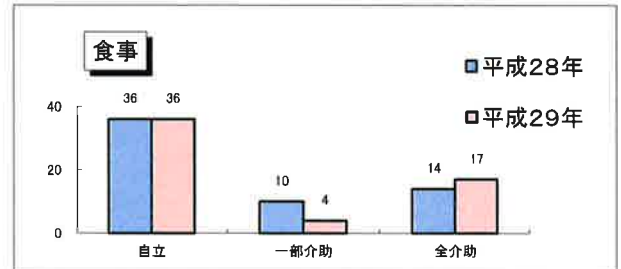
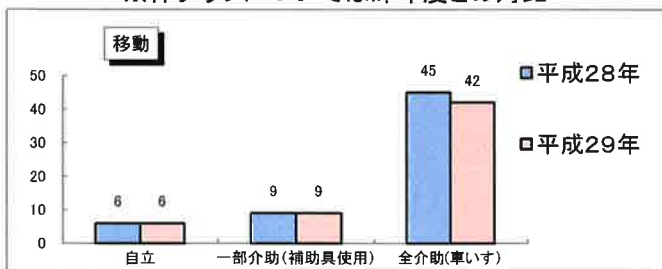
※( )内は看取り介護の数

[8]入所者の日常生活・認知度状況

(平成30年3月31日現在)

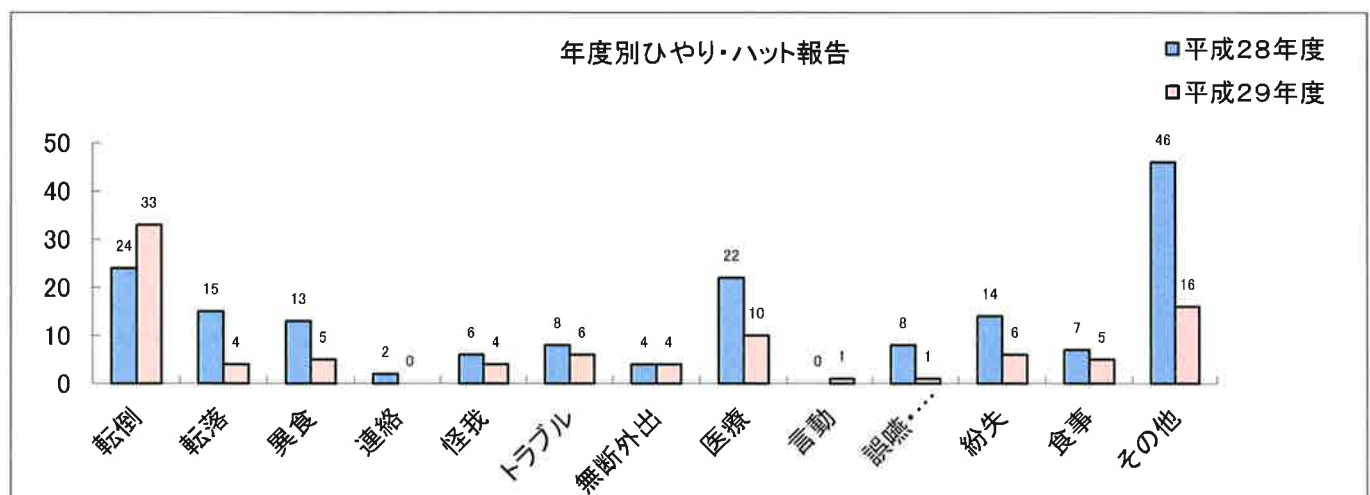
区分		28年度	1階	2階	3階	合計	割合
移動	自立	6	0	2	4	6	10%
	一部介助(補助具使用)	9	2	4	3	9	15%
	全介助(車いす)	45	14	19	9	42	74%
食事	自立	36	13	14	9	36	60%
	一部介助	10	0	4	0	4	7%
	全介助	14	3	7	7	17	28%
入浴	一般浴	15	3	6	9	18	31%
	中間浴	31	11	15	4	30	50%
	特浴	14	2	4	3	9	15%
排泄	自立	11	2	3	6	11	18%
	一部介助	20	11	13	4	28	47%
	全介助	29	3	9	6	18	30%
認知度	自立	0	0	0	0	0	0%
	I	3	2	1	0	3	5%
	Ⅱa・Ⅱb	9	2	4	3	9	15%
	Ⅲa・Ⅲb	29	10	10	8	28	47%
	Ⅳ	14	2	7	3	12	20%
	M	5	0	3	2	5	8%

※棒グラフについては昨年度との対比



[9]ひやり・ハット報告書作成状況

区分	28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	24	0	1	2	2	5	4	4	3	2	2	6	2	33
転落	15	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
異食	13	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	5
連絡	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
怪我	6	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	4
トラブル	8	0	1	2	0	0	0	1	0	1	1	0	0	6
無断外出	4	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	4
医療	22	3	1	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	10
言動	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
誤嚥・誤飲	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
紛失	14	0	1	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	6
食事	7	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	5
その他	46	9	3	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	16
合計	169	15	8	7	5	13	9	8	9	3	7	8	3	95



[10] 事故報告(市への報告事故)状況

区分	事故発生日	原因	事故内容	性別	受診先	入院の有無
1	平成29年6月13日	特定できず	左上腕近位端骨折	男	翠鳳第一病院	無
2	平成29年7月1日	利用者トラブル	左下腿部裂傷	女	洲本伊月病院	無
3	平成29年7月3日	転倒	右大腿骨転子部骨折	女	淡路医療センター	無
4	平成29年11月2日	転倒	捻挫	女	翠鳳第一病院	無
5	平成29年11月5日	嚥下機能低下	誤嚥	女	淡路医療センター	有
6	平成29年11月20日	特定できず	右大腿骨骨折	女	翠鳳第一病院	無
7	平成29年12月18日	転倒	左前額部裂傷	女	翠鳳第一病院	無
8	平成29年12月24日	転倒	左肩骨折	女	洲本伊月病院	無
9	平成30年2月17日	転倒	右大転子部骨折	女	淡路医療センター	有

[11] 苦情・要望状況

・苦情・要望報告書を作成する事により、利用者・家族の苦情(6件)、要望(4件)と思いを知ることができ、これによる対応を迅速に行っている。

(家族よりの苦情・要望9件、本人よりの苦情・要望1件)

全職員が共有して対応することで、再発防止に取り組んだ。

3 平成29年度事業計画に対しての取り組みと結果

《介護部門》

[1] 介護計画係(その人らしさの追求、ケアプランの充実)

・サービス担当者会議の充実

「平成29年度 職種別サービス担当者会議参加実績(年間開催日数36回)」

職種	介護支援 専門員	生活相談員	看護職員	管理栄養士	介護係主任
出席回数	36回	35回	25回	33回	36回
出席率	100%	97%	69%	92%	100%

上表の通り、サービス担当者会議を定期開催することで利用者一人ひとりの課題を細かく検討し専門性をもった視点でケアプラン化することができた。ただし、看護職員に関しては体調を崩した期間があり参加が困難な状況があったため、各専門職の安定した参加が実現できるよう努める必要がある。

・多様な様式による課題分析

「平成29年度 アセスメントツールの活用実績」

アセスメントツールの種類	気づきシート	センター方式 A-3	センター方式 A-3以外	包括自立支援プログラム
延利用者数	109名	109名	3名	48名

利用者個々の状態に合わせた多様な書式の活用により、その人らしさの追求や自立支援を行い、生活の質の向上に繋げることができた。

・ケアプランの効果検証

ケアプラン作成・変更の2週間後のモニタリングは37名について実施し、効果検証を行った。うち、定期更新以外の適時の変更が必要となった利用者について18名のケアプラン変更を実施することができた。

・自己決定への配慮と工夫

利用者が生活の各場面において自己決定ができることにより生活の質の維持・向上が図られ、また自己実現にもつながるよう配慮をしてきた。

自己決定に対する具体的ケア内容

喫茶コーナー、作品作りの相談、DVD録画の相談と放映の希望、食事席選択レクリエーション等の発案、緑文化祭への出展、外出支援(帰宅、買い物)

・ケアカンファレンスへの参加

「本人及び身元引受人の参加実績」

区分	平成28年度	平成29年度	前年対比
開催回数	140回	124回	16回減
本人 参加回数	7回	4回	3回減
身元引受人 参加回数	136回	122回	14回減
本人及び身元引受人 参加率	100%	100%	同

「ケアカンファレンス参加者の続柄別内訳」

区分	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟姉妹	甥・姪	成年後見人	その他	合計
参加延人数	7名	77名	55名	1名	0名	4名	4名	2名	150名
割合	5%	51%	36%	1%	0%	3%	3%	1%	100%

〔2〕 1階フロア

- ・安全面では、リスクマネジメント委員会と連携を図り、ひやりハット報告書、各種発見報告書、事故報告書において発生した時点に対応策を打ち出した。事故発生時には、看護職員と連携して家族への連絡と報告を丁寧に行い、信頼と協力を得られるように対応した。フロア会議では、各事例別に対応策の効果の確認と是正を行い、事故再発予防に取り組んだ。
- ・安心面では、利用者が快適な生活を送れるよう「環境を考える会」の活動と連携して、フロア内の環境整備の見直しを行った。ソファの使用状況を確認し、設置場所の変更を行った。

テレビ鑑賞を楽しみにされている利用者が快適に過ごせるよう環境整備に取り組んだ。また、洗面台の改修により、感染予防対策として手洗いの強化に取り組んだ。

- ・フロア会議で各委員から説明や報告をすることで、ケア内容の確認と実施につながり、利用者への安定したケアの提供ができた。
- ・利用者と共に季節感のある飾り作りやクラブ活動を実施することで、フロアでのレクリエーションとして楽しい時間を共有できた。

### 〔3〕 2階フロア

- ・利用者個々と関わる中で現存能力を把握し、ケア方法の試行錯誤を繰り返すことでトイレでの排泄(2名)、食事の自力摂取(1名)につなげることができた。
- ・良き話し相手になることで利用者の気分転換につながり、思いや希望に応えることができた。
- ・趣味、嗜好に添ったレクリエーションを計画し10回実施することができた。利用者と職員がともに楽しめるよう工夫して実施できた。

4月	おやつ作り	8月	ボール遊び・お茶会	2月	ボール遊び
5月	風船バレー	9月	秋の運動会	3月	散歩
6月	おやつ作り	11月	カラオケ会		
7月	カラオケ会	12月	おやつ作り		

- ・フロア会議には全職員(非常勤職員含む)が参加し、ケア内容の検討、情報の共有を行い統一したケアを行うことができた。また、介護支援専門員、看護職員、管理栄養士と連携を図り、より良いケアを実施することができた。
- ・アセスメントツール(センター方式)を2件のケースに活用し、精神状態、排泄のパターンをより深く知ることで、できること、できないことの把握ができ、より良いケアにつなげることができた。
- ・申し送りを確実に行うことができ、継続事項は引継ぎ帳を活用することでケアが継続して実施できた。
- ・担当者が中心となり居室の整理整頓、清掃を行い、利用者、家族が持参した物品やクラブ、趣味を活かした作品などを利用者と共に飾りつけをし、安全で安心して過ごせる良い環境づくりができた。
- ・フロア環境については環境を考える会、排泄委員会、食と健康を考える会と連携を図り利用者が快適に過ごせる環境を作ることができた。
- ・四季折々の飾り付けをし、季節感を感じてもらうことができた。
- ・古いソファの買い替えを目標にあげていたが、購入には至らなかったため来年度は買い替えを行っていききたい。

### 〔4〕 3階フロア

- ・3階フロア目標として「し・あ・わ・せ」をキーワードに支援を行ってきた。しあわせの先の笑顔については緑風会の理念である「私たちの願いはあなたの笑顔です」をケアの基本として、利用者が笑顔で毎日を過ごせるよう、日常生活が楽しく送れるように、職員のケア方法、言葉づかいに留意して利用者 と接し、また職員も楽しくケアができるような雰囲気作りに取り組んできた。行事・クラブなど、参加してもらう中で利用者・職員が笑顔で毎日を過ごす事ができた。

- ・あるがままの姿については、ケアの中でその人らしさを第一に考え、個々の利用者に対してフロア会議をはじめ、日常のケアの中で職員間で課題などあれば都度検討し、必要に応じてセンター方式を活用し、その人の今ある姿をとらえケアに活かした。
- ・和を基調とした環境については、落ち着いた環境になるようにソファーやテーブルの位置を変更し、利用者と職員がゆったりと座ってコミュニケーションができるよう取り組んだ。
- ・掲示物に関しては四季を感じられるものを利用者と一緒に創作して飾りつけを行った。季節の移り変わりを感じることができた。また、和室のこたつも活用し、利用者がのんびりとした一日を過ごせる環境づくりを行った。
- ・利用者の力を最大限に活かしながら現存能力を発揮できるように、機能の再確認をし、自身でできることの大切さ、喜びを職員と共に感じていただけた。

## 〔5〕 看護係

- ・多職種連携を図り床ずれゼロを目指してきたが、4件の発生があった。
- ・月1回の協力歯科医(奥田歯科)の協力により、個々に応じた口腔ケアが実施できた。
- ・29年度は施設内において看取り介護者を3名実施できた。

## 〔6〕 委員会の充実

### 【リスクマネジメント委員会・身体拘束廃止委員会】

- ・リスクマネジメント委員会・各フロア会議を、毎月1回行い、事故報告書の分析と個別ケア検討を実施し、再発防止に努めた。事故件数(市への報告事故)は9件であった。
- ・介護事故の根絶を目指すための施設内研修を行いリスクマネジメントの基礎知識や事故防止活動の具体的な取り組み例を学ぶことで、職員のスキルアップにつなげることができた。
- ・身体拘束廃止委員会については、不適切ケア防止に向けた施設内研修を実施。事例をもとに検証を行うことで、改めて職員間で共有し理解を深め日常のケアを振り返ることができた。

### 【感染予防委員会】

- ・感染予防対策として、感染症のウイルスを施設外部から持ち込まないように、新規での長期、短期利用者、デイサービスの利用者、来館者、委託業者、ボランティア、実習生等に対し、体調確認を行うと同時に、手洗いや消毒、マスクの使用を勧めることで、罹患やまん延防止につながった。
- ・職員を対象に研修会を年2回実施し、近年の施設における感染症の動向を踏まえ、感染症予防マニュアルに沿った勉強会や細菌、ウイルスの性質に関する正しい理解をすることで、感染症と食中毒の発症を阻止することができた。
- ・感染予防委員会を年6回開催し、兵庫県感染症情報センターの感染症発生動向を確認し、早期の予防対策に努めた。

### 【食と健康を考える会】

- 今年度は利用者が安全で美味しい食事を摂れるようにを目標として取り組んできた。
- ・奥田、有馬歯科医師の協力により、計82名の利用者の歯科健診を行った。歯や舌下の状態、義歯の噛み合わせ、装着状態等を診て、職員へ適切な口腔ケアの指導を実施し、安全かつ、美味しく食べれるように支援ができた。また、歯科医師による、口腔内の健



康維持についての講義を施設内研修で行い口腔ケアの大切さを全職員に周知できた。

- ・食事をする時の介助方法や言葉かけ等の適切なケアについてのアンケートを取り、不適切なケアについてまとめ、特養職員へ配布し、周知する事で、適切なケアの実施につながった。
- ・個々にあった食事形態、自助具の検討については延べ68名の食事形態の変更を行い、述べ23名の自助具の変更を行った。状態変化に伴い、すぐに食事内容の変更、自助具の変更を行う事により、自身で食べる楽しみにつながった。
- ・「食べる、飲み込む」機能の低下防止については、食前に「ばんだのたからもの」を発声したり、口腔内をアイスマッサージ、清拭をし、刺激を与えることで唾液の分泌につなげ、機能の低下防止につながった。

#### 【排泄委員会】

- ・個別排泄ケアとして年2回(6月と12月)の尿量測定と、定期的な見直しを実施し、36名の方に排泄用具の変更を行うことができた。
- ・紙パンツから下着(コットンパンツ)へ、5名の方に対して見直しを行う事で快適性やコストの削減を達成することができた。
- ・スムーズな排便への取り組みとして、昨年度43件、今年度174件の事例を検討した結果、17名の方は継続して効果が現れた。
- ・下剤の服用と浣腸の回数も減少しており、スムーズな排便への取り組みにつながっている。

#### スムーズな排便への取り組み実施件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1階	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	3
2階	7	7	7	7	7	8	8	9	9	9	9	9
3階	3	3	3	4	2	1	2	3	1	1	2	3

- ・おむつ交換やトイレ案内の際、バケツとカゴの使用を止めてプライバシーを守る取り組みを行った。具体的には、エコバッグを2つ用意してパッド類を入れる袋と汚物を入れる袋に分ける事で、排泄に行くと悟られないように実施している。
- ・花王による勉強会に参加して、おむつの当て方や新商品に関する知識を習得することができた。また、他社の新商品を試行観察する事で利用者にとって快適な排泄用具の検討ができ、コスト削減にもつながった。
- ・排泄関連の講習にも参加して、改めておむつ類の基本的な使用方法を確認できた。
- ・トイレ環境の改善として、温水式便座を各フロア1台ずつ導入して設置した。
- ・尿量測定チェックシートの様式を見直すことにより、詳細な情報が得られ、根拠に基づいた良いパッドサイズの見直しへとつながった。

#### 【入浴委員会】

- ・脱衣所や浴室の環境整備として、備品の破損・故障を発見した場合は早急に対応していった。特に一般浴槽での排水溝のつまりは、業者が入り排水管工事を行った。今後も定期的な点検が必要かと思われる。利用者が安心して入浴を楽しめる環境整備ができた。
- ・利用者の入浴に関するアンケート(5月・10月)と個人別入浴援助方法の作成(5月・8月・11月・2月)を行った。各フロアスタッフ全員と利用者の個別情報の共有を図り、利用者個々の機能に応じた個別支援の向上とケアの安定化に努めた。

- ・毎月の入浴委員会にて個々の利用者の状況変化や対応するケアの変更を検討し、一般浴、個浴、中間浴、特浴の介助の適正化を図り、入浴予定表を随時更新した。
- ・毎月の季節湯と随時の入浴剤を提供することで、お風呂の楽しみと快適性の向上に努めた。季節湯時には、各フロアにポスターを掲示し、事前のお知らせする事で、楽しみ感を味わう事ができ、利用者からも喜びの声が聞けた。
- ・浴室の大掃除を年に2回(6月・12月)実施した。排水溝の掃除や普段目の届きにくい部分まで実施した。浴室の美化と衛生環境の向上に繋がった。
- ・施設外研修や展示会へは参加できず、入浴に関する新たな知識の習得はできなかった。
- ・季節湯の香りや見た目向上のための入れ物の変更、季節湯の拡充、入浴衣類かばんへの総入れ替えを実施した。

#### 【認知症ケア委員会】

- ・「ふるさとツアー」を企画し、3名の利用者が参加した。馴染みのある場所(自宅)に帰り、周辺散策したり、家族と一緒に過ごし思い出話をする事で昔を懐かしむことができた。
- ・年間を通して1階2名、2階1名、3階4名の利用者に対して個々にあったセンター方式(アセスメントツール)のシートを実施した。効果として、排便のサイクルを把握するためにセンター方式[D-3シート](生活リズムパターンシート)活用することで、排便につながる時間帯を知ることができ、ケアに活かした。利用者の思いを知るためにセンター方式[C-1-2シート](私の姿と気持ちシート)を活用することで、フロア職員が情報を共有し、利用者の思いを理解することができた。
- ・言葉かけ・不適切ケアのアンケートを実施した。アンケート結果をもとに1月の施設内研修で、職員同士で演習やグループワークを行い、言葉かけや不適切ケアについて考え、自身を振り返ることができた。
- ・アニマルセラピーに関して、主に1階5名、2階3名、3階2名の利用者を対象に餌やり・水の交換・小屋の掃除を職員と一緒に行うことができ、癒しの効果に繋がった。
- ・認知症介護実践者研修1名・認知症介護実践者リーダー研修1名が終了証書を取得。
- ・ケア従事者のための対人スキルアップ講座の講習にも参加し、認知症について学ぶことができた。

#### 【環境を考える会】

- ・「キャプション評価法」について勉強会を実施し、委員会のスキルアップにつながった。
- ・平成28年度の施設内研修で行ったキャプションシート(環境課題抽出シート)で打ち出された課題をもとに平成29年度の各セクションの環境作りを行う目標を立案した。各セクションの目標に沿い、利用者が安心して暮らし続けられる環境作りを行った。その結果、年間を通して計32ヶ所を改善することができた。

#### 【1階】合計5ヶ所

##### 《改善前》



##### 《改善後》



##### 《改善後の状況》

特定の利用者しかテレビを観ることができなかったが、他の利用者にもテレビを観て楽しんで頂けるようになった。

【2階】合計6ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

直射日光により眩しかった。  
日中も落ち着ける空間になった。

【3階】合計5ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

ソファーや足置を設置することでゆったり  
過ごしていただけるようになった。机を  
撤去することで、畳からフロアまでの動  
線がスムーズになり、テレビも観やす  
くなった。

【デイ】合計5ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

利用者自身で機械の操作できるよう  
になり、自由な時間に利用することが  
できる自立支援につながった。

【事務所】合計4ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

来館者にとって、玄関を整理整頓する  
ことで好印象を与えることができた。  
掲示物が見やすくなり、来館者等へ  
の情報発信ができるようになった。

【みどりの家】合計7ヶ所

《改善前》



《改善後》



《改善後の状況》

利用者が自身で選ぶことができるよ  
うになり自立支援につながった。

・利用者や家族と共に考えながら環境整備に取り組むという観点から、アンケートを実施した。115名の家族に配布し、81名の回答があった。その結果、家族様の感じていることを知ることができ、課題を見出すことができた。来年度より改善に取り組んでいく。

#### 【ポジ・トラ委員会(ポジショニング・トランスファー)】

- ・シーティングでは、1階2名、2階1名、3階2名、みどりの家1名を実施した。結果は良好で安楽な姿勢や活動しやすい姿勢の維持につなげることができた。
- ・ポジショニングでは、1階1名、2階1名、3階3名、みどりの家1名を実施した。結果は良好で安楽な姿勢につながった。
- ・移動、移乗、体位変換に関する勉強会を実施した。
- ・移乗用の福祉用具として、スライドシート、回転式移乗補助具を試行した結果、様々な問題点があり、使用には至らなかった。今後も福祉用具の検討は行っていきたい。
- ・施設外研修に参加でき、委員会で勉強会を開き委員メンバーで情報の共有を行った。
- ・各階で委員会メンバーが指導者となり楽ワザ介護術を実践してみる。職員同士での練習を繰り返す必要があった。
- ・各階とみどりの家で発赤判定ツールを使用したが、効率よく活用はできなかった。今後、各階での活用の仕方の見直しが必要と思われる。
- ・床ずれの発生件数に関しては、年間で4件の床ずれの件数がみられている。床ずれ判定ツール表も作成し、活用しながら看護職員と連携を図り治癒傾向につなげる事ができた。

#### 【広報委員会】

##### 〈機関紙〉

- ・広報誌を年に2回発行し、法人全体の情報を利用者、家族、地域の方々に発信した。

区分	発効日	部数	配布先
緑風だより第33号	9月10日	400部	・特養、デイ、みどりの家の利用者家族 ・島内他施設、事業所、みどり診療所
緑風だより第34号	2月10日	400部	・緑風館来訪者、民生委員など

##### 〈ホームページ〉

- ・ホームページ内において、職員募集・ショートステイの空き情報などを掲載した。
- ・29年度はホームページに44件(月の平均掲載数は3.7件)のブログを掲載し、合計閲覧数は12208回だった。28年度の合計閲覧数は12321件であり、昨年度と大きく変わりのない閲覧数だった。フェイスブックに関しては、47件(月の平均掲載数は3.9件)の記事を掲載し、合計840件の評価、リアクションを得ることができた。

#### 【衛生委員会】

緑風会における職員の安全と健康を推進することで、快適な職場環境の形成に努めた。

##### 〈安全関係〉

- ・4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)活動の実施  
労働環境の整備、整理整頓、衛生面の確保について年間を通じて取り組んでいくことができた。
- 各部署においては「これだけはやめよう」「これだけはやろう」という目標設定を行い、具体的な内容を打ち出すことで徹底につながった。

・労働災害の予防及び改善

労働災害が予測できる「作業環境」や「作業内容」「疾患等罹患リスク」を定期検証することで災害発生予防に繋がり、労働災害は0件であった。

[検証数]

区分	作業環境検証数	作業内容検証数	罹患リスク検証数
外部・玄関	1件	1件	1件
事務所	7件	3件	3件
デイサービス	5件	2件	2件
特養	15件	8件	7件
みどりの家	7件	3件	4件
合計	35件	17件	17件

・感染予防対策

委員会内で穀内純江医師より、インフルエンザやノロウイルス等の感染性胃腸炎への罹患予防に対する助言を適時頂いている。

・施設内の床材等の補修・改修

法人内の床材等の剥離や劣化箇所について年1回調査を行うことで、安全で快適な環境を目指している。

区分	修繕必要箇所数	区分	修繕必要箇所数
緑風館	16件	みどりの家	0件

〈衛生関係〉

・定期健康診断

夏季、冬季の二期に実施。有所見者には二次検査受診を督促することで、職員の健康保持につなげている。

・メンタルヘルス

9月にストレスチェックを全職員71名対象に実施し、高ストレス対象者には、産業医に相談できる体制をとっている。

・腰痛検査

上記、作業・作業環境・健康の3つの管理と労働衛生について検証した上で、腰部保護ベルトの使用状況調査を継続的に行い、状況の把握と改善につなげた。

区分	常用	頻繁	痛い時	ほとんど未使用	夜勤時のみ	未使用	使用率
腰部保護ベルト 使用者数 (総数74名)	15名	1名	9名	6名	1名	41名	43.84%

【地域貢献委員会】

・地域の交流の場の提供

平成27年6月より、不藤地区と広田南地区の住民の方に対して、毎週木曜日9時30分より緑風館の食堂をいきいき百歳体操実施場所として提供している。登録者24名、平均10名の地域住民の方が参加されている。

・地域の住民を24時間体制で見守り支援

平成27年8月より、1人暮らしの高齢者や高齢者世帯の方に訪問や電話による見守りサービスを行った。平成30年3月末現在の登録者は3名である。

・地域住民に福祉の出前講座を開催

「福祉の知っとこ出前講座」を山添サロン、徳原中山地区サロンにて開催した。

緑地区のいきいき百歳体操会場や、サロンの場、広田公民館、倭文公民館にパンフレットを置かせていただき、出前講座をPRした。

・ペットボトルのふた、プルタブの寄付

職員や来館者の協力によりペットボトルのふたとプルタブを収集して、南あわじ市社会福祉協議会へ寄付した。今年度は収集箱がいっぱいになって寄付した回数が19回であった。

職員や面会者、いきいき百歳体操参加者が、意欲的に貢献していただいている。

・広田梅まつりの運営協力

地域の身近な観光地である広田梅林で、老人会の方と交流を深めながら、運営の手伝いを行った。また運営側の希望に応じて、まつり期間中に車いすの貸し出しを行った。

・南あわじ市の事業への協力

「南あわじ市における高齢者等の見守り・SOSネットワーク事業」で認知症等の病気などにより、道で迷ってしまうなど、行方不明者になる可能性のある方が、関係機関と協力しながら速やかに発見・保護を目的とし、その協力機関として登録した。

・不藤地区、広田南地区の民生委員、自治会長との意見交換

緑風館が地域貢献できることを考えていくために、不藤地区と広田南地区の民生委員、自治会長と意見交換する場を設け、地域の困りごとや緑風館として何ができるかを話しあった。

愛宕神社春祭りの清掃に人手が欲しいとのことで職員5名が清掃ボランティアした。

・みどり市民まつりへの参加は、天候不良によりイベントが中止となり、参加ができなかった。

## 《給食部門》

### 〔1〕 栄養管理委員会

利用者へ食事が円滑に提供できるよう栄養管理委員会を毎月1回開催し、情報の共有・交換を行い連携を図った。

### 〔2〕 食事サービス

・各フロアで月1回行われる喫茶コーナーでは、希望を聞き取り、それに反映したメニューを提供することで笑顔につながった。音楽を流したり、利用者の前ではたこ焼きを焼いたりなど雰囲気作りをした。たこ焼き、プリン、ケーキが人気だった。

・食事摂取量低下と褥瘡の利用者に対して、栄養剤を追加し提供した。

・利用者からの献立に対する要望をご意見帳に記入してもらうことで、献立の検討と対応をすることができた。

・「ふれあい食事会～秋を味わうバイキング」では、委託業者と連携をとることで、ご家族と利用者喜んでいただける食事を提供することができた。また、ご家族と利用者が団欒する機会をつくることができ、好評を得ることができた。

### 〔3〕 各種加算状況

平成29年度の各種加算状況は次のとおりであり、収入の確保に努めた。

「経口維持加算Ⅰ・Ⅱ」 加算報酬額：(Ⅰ)単価 4000円(月) (Ⅱ)単価 1000円(月)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Ⅰ	24	21	20	19	18	17	17	17	18	17	17	16	221
Ⅱ	23	21	20	19	18	17	17	17	17	16	15	15	215

「療養食加算」 加算報酬額：一人当たり単価180円(日)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実数	31	33	33	30	32	33	34	32	33	30	29	30	
延日数	930	1023	990	930	992	990	1054	960	1023	930	812	930	11,564

### 〔4〕 栄養ケア・マネジメント

- ・多職種と連携をし、食事摂取量が減少した利用者に対しては、いち早く栄養ケア・マネジメントに取り組みを行った。また、褥瘡の発生予防及び発生後の悪化防止のため、状態にあわせた栄養管理を行った。
- ・夏期(7月～8月)においては、経口補水液を提供し、猛暑による脱水症を避けることができた。

### 〔5〕 感染症予防及び食中毒予防

- ・研修会を年2回実施し職員の情報共有を行ったため、感染症と食中毒予防につながった。
- ・感染症と食中毒の発生が増加すると予測される期間中は、来館者に手洗い、うがい、マスク着用を喚起することで取り組みを徹底した。

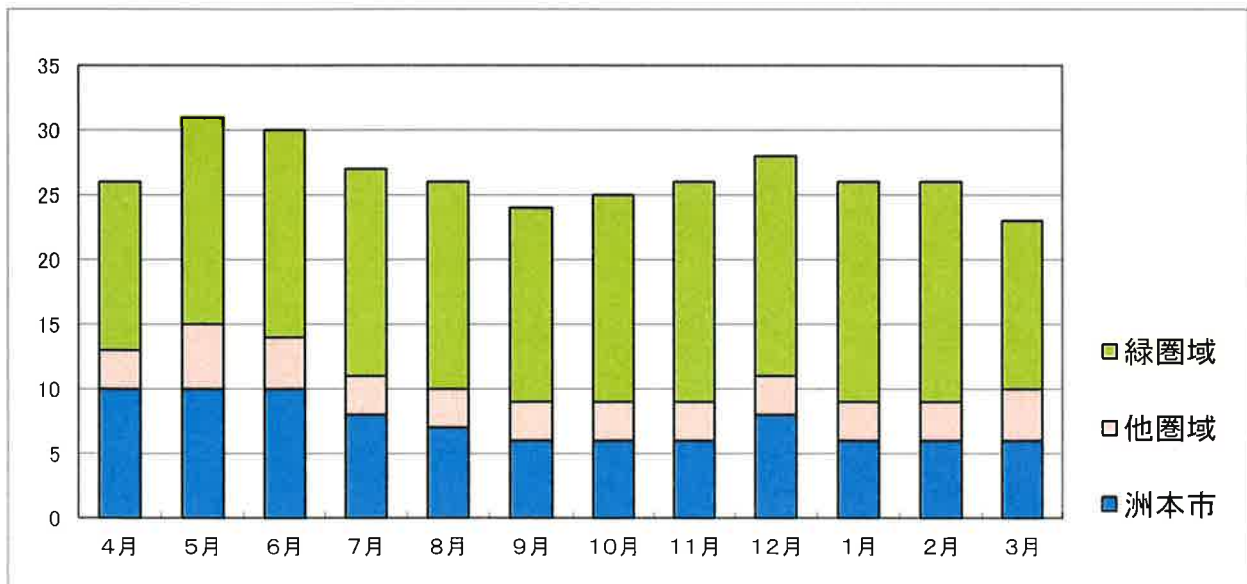
### Ⅲ 短期入所生活介護事業

#### 1 施設 の 概 要

- 〔1〕 名 称            特別養護老人ホーム 緑風館
- 〔2〕 所 在 地        兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
- 〔3〕 開 設            平成6年6月20日
- 〔4〕 設 置 運 営      社会福祉法人 緑風会
- 〔5〕 定 員            10名

#### 2 市町別利用状況

区分			平成29年度												合 計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
南あわじ市	緑圏域	実人数	13	16	16	16	16	15	16	17	17	17	17	13	189
		延人数	190	207	216	242	236	226	257	238	246	280	198	172	2708
	他圏域	実人数	3	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	40
		延人数	36	73	67	51	48	47	44	47	47	48	48	60	616
洲本市	実人数	10	10	10	8	7	6	6	6	8	6	6	6	89	
	延人数	107	94	88	82	109	80	81	64	74	66	76	62	983	
実人数合計			26	31	30	27	26	24	25	26	28	26	26	23	318
延人数合計			333	374	371	375	393	353	382	349	367	394	322	294	4307



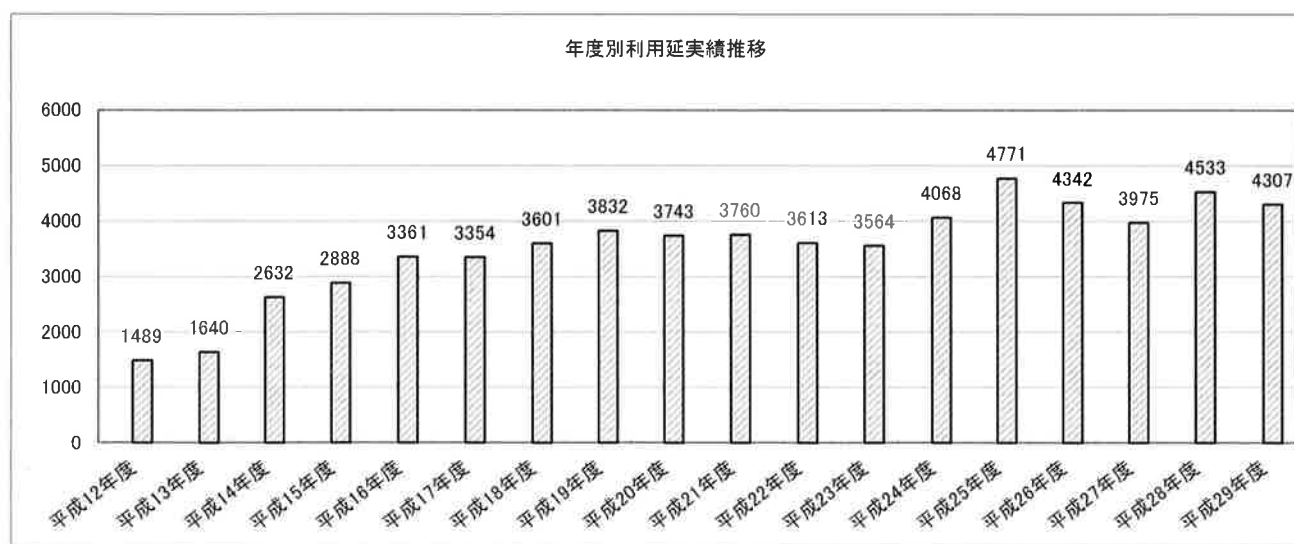


### 3 利 用 実 績

#### 〔1〕 年 度 別 延 利 用 実 績

合計(延べ利用日数) 平均(1日あたり利用人員)

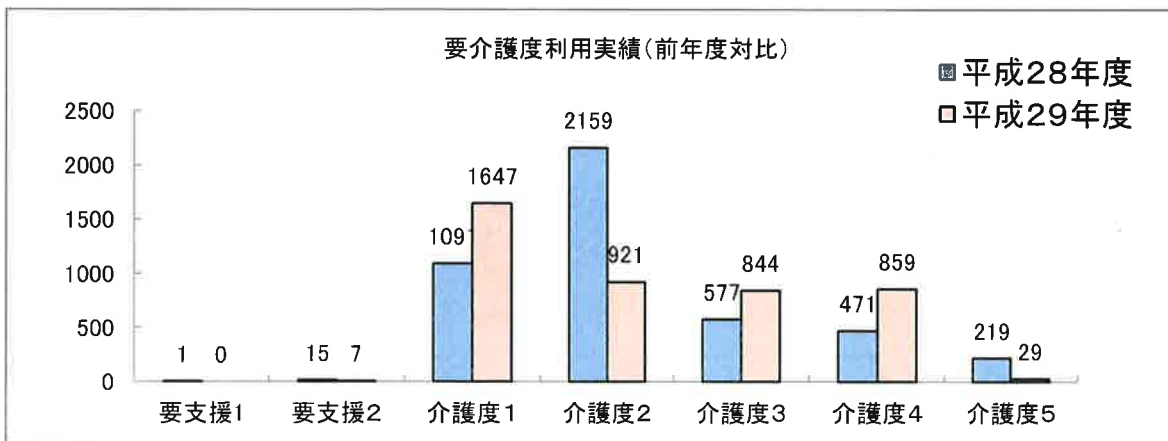
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
平成12年度	38	98	140	94	75	103	114	114	152	149	194	218	1489	4.1
平成13年度	122	83	180	152	147	92	144	78	118	165	184	175	1640	4.5
平成14年度	208	205	220	208	261	216	234	226	236	249	200	169	2632	7.2
平成15年度	210	258	265	239	309	258	228	241	230	229	203	218	2888	7.9
平成16年度	247	273	282	275	266	226	277	329	308	306	265	307	3361	9.2
平成17年度	222	295	290	315	276	274	282	227	296	294	263	320	3354	9.2
平成18年度	308	338	349	381	330	288	304	241	246	283	259	274	3601	9.9
平成19年度	283	320	295	257	316	307	365	360	323	289	359	358	3832	10.5
平成20年度	294	294	286	274	326	320	342	316	354	328	289	320	3743	10.2
平成21年度	316	315	294	332	316	296	300	312	296	314	306	363	3760	10.3
平成22年度	320	332	321	312	295	285	302	262	241	264	305	374	3613	9.9
平成23年度	340	323	289	274	283	280	272	295	308	306	295	299	3564	9.7
平成24年度	361	385	364	325	331	333	325	311	340	355	316	322	4068	11.1
平成25年度	334	372	397	326	446	420	405	379	396	416	426	454	4771	13.1
平成26年度	408	362	355	363	375	362	345	349	373	381	321	348	4342	11.9
平成27年度	305	359	331	330	348	324	236	303	354	349	331	405	3975	10.9
平成28年度	420	324	330	421	413	381	405	358	368	436	363	314	4533	12.4
平成29年度	333	374	371	375	393	353	382	349	367	394	322	294	4307	11.8



〔2〕要介護度別利用実績

区分		28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	人	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要支援2	人	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	延	15	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	7
	平均	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5
要介護1	人	98	7	10	11	9	9	9	11	10	9	11	10	8	114
	延	1091	116	108	125	142	144	138	180	139	126	163	151	115	1647
	平均	11.1	16.6	10.8	11.4	15.8	16.0	15.3	16.4	13.9	14.0	14.8	15.1	14.4	14.4
要介護2	人	148	9	8	10	6	10	6	6	6	9	4	5	5	84
	延	2159	126	107	149	96	88	56	59	59	64	52	18	47	921
	平均	14.6	14.0	13.4	14.9	16.0	8.8	9.3	9.8	9.8	7.1	13.0	3.6	9.4	11.0
要介護3	人	58	7	8	5	4	4	5	4	6	7	8	7	8	73
	延	577	43	64	39	41	77	73	51	68	93	107	88	100	844
	平均	9.95	6.1	8.0	7.8	10.3	19.3	14.6	12.8	11.3	13.3	13.4	12.6	12.5	11.6
要介護4	人	32	3	4	3	5	3	3	3	3	3	3	4	2	39
	延	471	48	92	51	83	84	82	84	82	84	72	65	32	859
	平均	14.7	16.0	23.0	17.0	16.6	28.0	27.3	28.0	27.3	28.0	24.0	16.3	16.0	22.0
要介護5	人	20	0	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	6
	延	219	0	3	7	10	0	0	8	1	0	0	0	0	29
	平均	11.0	0.0	3.0	7.0	5.0	0.0	0.0	8.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
合計	人	358	26	31	30	27	26	24	25	26	28	26	26	23	318
	延	4533	333	374	371	375	393	353	382	349	367	394	322	294	4307
	平均	12.7	12.8	12.1	12.4	13.9	15.1	14.7	15.3	13.4	13.1	15.2	12.4	12.8	12.4

※ 人(実人員) 延(延べ利用日数) 平均(ひとり当り利用日数)



## IV 通所介護事業

### 1 施設の概要

- [1] 名称 緑風デイサービスセンター
- [2] 所在地 兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
- [3] 開設 平成6年7月1日
- [4] 設置運営 社会福祉法人 緑風会
- [5] 利用定員 30名

### 2 利用者状況

#### [1] 月別利用者数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実開所日		20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	20	22	257
新規利用	要支援	0	1	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	7
	要介護	2	1	1	1	1	0	1	1	2	2	3	2	17
要支援	人	11	11	11	11	11	11	13	13	11	10	11	11	135
	延	90	96	98	69	80	110	102	105	97	67	62	72	1048
要介護	人	35	36	37	35	37	37	41	41	41	40	40	39	459
	延	314	383	372	356	388	403	460	449	436	386	404	485	4836

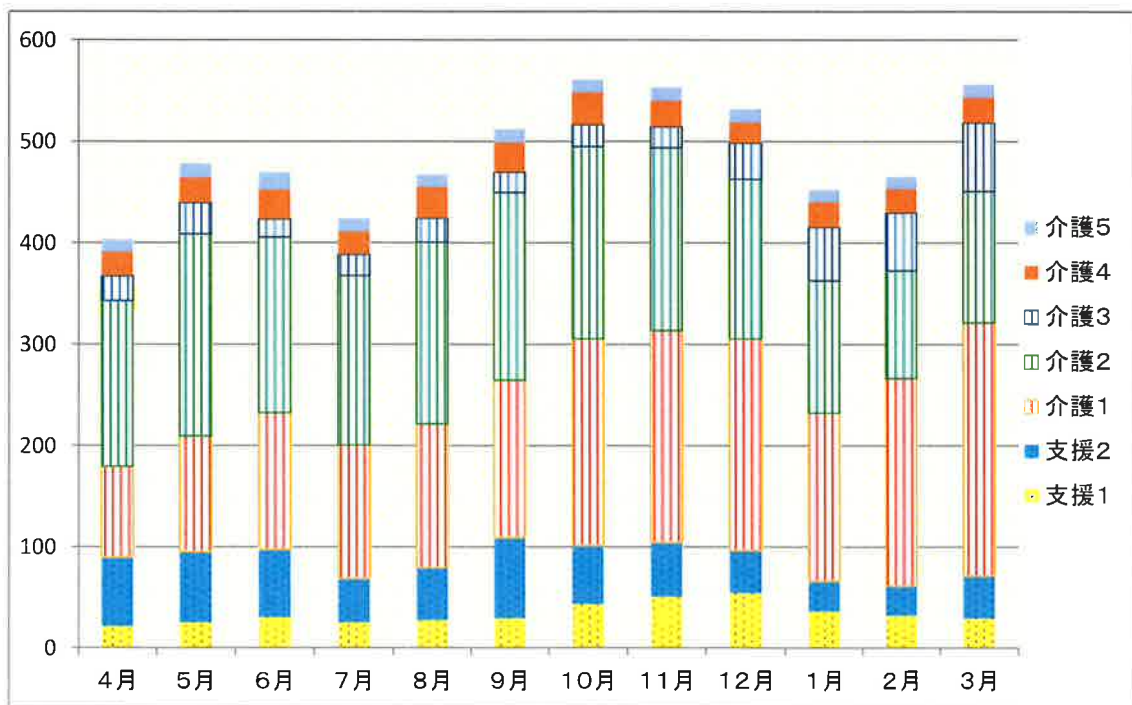
#### [2] 利用平均数

開所日数	257	月平均	490.3	1日平均	22.9
------	-----	-----	-------	------	------

### 3 要介護度別利用実績

〔1〕平成29年度

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要支援1	人	3	3	4	4	4	4	7	7	7	6	7	6	5.2
	延	22	26	31	26	28	30	44	51	55	37	33	30	34.4
要支援2	人	8	8	7	7	7	7	6	6	4	4	4	5	6.1
	延	68	70	67	43	52	80	58	54	42	30	29	42	52.9
要介護1	人	11	12	14	15	15	16	20	20	20	20	21	23	17.3
	延	90	114	135	132	142	155	204	209	209	166	205	250	167.6
要介護2	人	14	14	13	12	13	13	12	13	12	11	10	8	12.1
	延	164	199	173	167	179	185	189	180	157	130	106	129	163.2
要介護3	人	4	4	4	3	4	3	4	3	5	5	6	5	4.2
	延	24	31	18	21	24	20	22	21	36	53	57	68	32.9
要介護4	人	5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	2	2	3.7
	延	24	25	29	23	31	30	32	26	21	25	24	25	26.3
要介護5	人	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.1
	延	12	14	17	13	12	13	13	13	13	12	12	13	13.1
合計	人	46	47	48	46	48	48	54	54	52	50	51	50	49.5
	延	404	479	470	425	468	513	562	554	533	453	466	557	490.3



#### 4 年齢別利用者状況

(平成30年3月31日現在)

区分	60歳代	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	合計
予防	0	2	1	1	7	11
介護	1	1	8	17	12	39
計	1	3	9	18	19	50

区分	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	64	90	83
女	76	99	87.8
全体			85.4

#### 5 利用者の居住状況

##### [1] 地区別利用者数

##### 南あわじ地区

区分	広田広田	広田中筋	山添	中条徳原	中条中筋	中条広田	倭文庄田	倭文土井	志知志知	松帆志知川	志知中島	松帆西路	市福永	合計
男	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
女	2	11	2	1	3	2	3	1	0	2	1	1	0	29
計	3	11	3	1	3	2	3	1	1	2	1	1	1	33

##### 洲本地区

区分	前平	木戸	宇山	大野	栄町	納	宇原	鮎屋	池内	本町	上内膳	鳥飼	合計
男	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	4
女	2	0	1	1	1	2	0	2	1	1	1	1	13
計	2	1	1	1	2	2	1	3	1	1	1	1	17

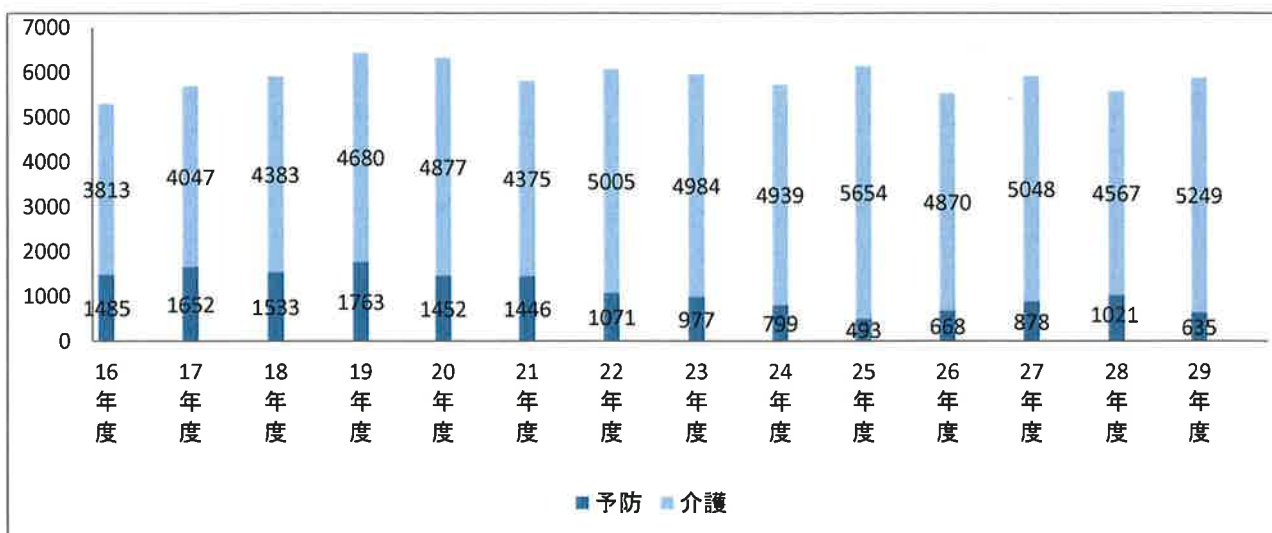
##### [2] 世帯構成別利用者数

区分	家族同居	老人夫婦	独居	合計
予防	6	0	5	11
介護	29	4	6	39
計	35	4	11	50

## 6 過去利用者状況

過去利用状況（定員30名）

区分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予防	1485	1652	1533	1763	1452	1446	1071	977	799	493	668	878	1021	635
介護	3813	4047	4383	4680	4877	4375	5005	4984	4939	5654	4870	5048	4567	5249
計	5298	5699	5916	6443	6329	5821	6076	5961	5738	6147	5538	5926	5588	5884



## 7 個別機能訓練加算人数

「要支援訓練加算」 生活機能向上グループ加算:100単位 運動器機能向上加算:225単位 /月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活機能向上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
運動器機能向上	10	10	10	10	10	10	11	11	11	8	8	8	117

「要介護個別訓練加算人数」 個別機能訓練加算Ⅰ:46単位 /人 個別機能訓練加算Ⅱ:50単位 /人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別機能Ⅰ	人	35	36	37	30	35	32	37	37	38	38	39	432
	延	322	383	409	258	225	263	388	429	414	384	398	4350
個別機能Ⅱ	人	10	19	19	17	16	19	24	24	24	22	20	236
	延	180	193	122	218	208	243	279	301	294	242	209	2739

「認知症加算人数」 認知症加算:60単位 /人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	10	9	10	8	9	8	9	9	12	11	7	8	110
延	74	76	76	65	73	81	86	77	90	103	94	94	989



## 8 外出行事

「心身機能」のみならず、今年度は、活動・参加・体験を含めた地域社会への参加を多く企画した。普段から歩くことが少ない中で外気を肌で感じながら、日常生活の活動を高めるアプローチをした。



4月 うずの丘大鳴門橋記念館



4月 西淡マルナカへ外食



5月 厚浜カプチーノ喫茶



10月 おのころ神社



10月 観覧車体験



10月 下り淡路サービスエリア



11月 すえひろケーキ



11月 すえひろケーキ



2月 広田梅林



3月 緑風館外の散策



3月 小林さんの苺園



3月 小林さんの苺園



3月 緑風館外の散策



3月 大野菜の花畑



3月 鮎屋ダムの桜

## 9 事業計画に対しての取り組みと結果

- ・利用者数25名の利用確保については、平成29年度の新規利用者は、要支援7名、要介護者17名で前年度に比較すると増加したが、一日の平均利用者数は23名にとどまった。
- ・居宅事業所(ケアマネ)へは、毎月利用者の活動を写真でお知らせをしている。また季節の作品作り(こいのぼり、ひな人形、敬老会、クリスマス等)を居宅事業所に提供し鑑賞していただいている。
- ・欠席者への対応として、休みの理由を伺い、振替え利用や提供時間の変更などを行い、利用者・家族のニーズに合わせた随時の対応を行った。
- ・入院している登録者には、毎月入院先を訪問し、現状を把握することで再利用の見込みを検討し、ケアマネに情報提供を行った。
- ・広報活動では、南あわじ市、洲本市のケアマネ会に参加し、パンフレットを配布すると共に、デイ事業所の特徴をアピールすることができた。
- ・安全と安心のある環境作りについては、徹底した手洗いと消毒の実施。また家族との連携により体調管理に努めた結果、デイ利用者の感染症発生を防止することができた。
- ・自立支援を目的に環境作りを行った。また、機能訓練のトレーニングを行い、より一層利用者は自主的に幅広い活動の推進ができた。
- ・誤嚥性肺炎予防として、口腔体操、吹き戻しを使って肺活量の向上等に取り組んだ結果、健康維持につながった。



## Ⅶ 小規模多機能型居宅介護事業

### 1 施設の概要

- [1] 名 称 みどりの家
- [2] 所在地 兵庫県南あわじ市広田広田424-1
- [3] 開設 平成21年4月1日
- [4] 設置運営 社会福祉法人 緑風会
- [5] 利用定員 登録 25名 通い 15名 泊まり 9名
- [6] 土地・建物 敷地面積 247.93㎡(借地)
- 建物構造 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
- 建物延面積 372.48㎡

### 2 事業実績報告

#### [1] 月別登録者数・サービス利用状況

区分	登録 人数	通い		泊り		訪問	
		実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4月	17	16	340	10	188	6	107
5月	17	16	360	9	207	6	102
6月	18	17	363	9	218	5	74
7月	18	17	402	10	229	5	106
8月	19	18	401	11	233	6	106
9月	19	18	376	9	215	5	99
10月	20	19	403	10	194	5	109
11月	19	19	405	8	190	6	86
12月	18	18	426	8	190	5	136
1月	19	19	356	8	183	7	81
2月	17	17	371	10	169	6	63
3月	19	19	447	11	235	6	41

〔2〕地域・男女別登録者の状況

地 域	男性	女性	合計
広田中筋	2	2	4
広田広田	2	6	8
中条中筋	0	2	2
山 添	0	1	1
倭文長田	0	1	1
賀集八幡	0	1	1
合 計	4	13	17

[平成30年3月31日現在]

〔3〕要介護度別登録者の状況

区 分	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均 介護度
4月	1	2	6	2	0	3	3	17	2.32
5月	1	2	6	2	0	3	3	17	2.32
6月	1	2	6	2	1	3	3	18	2.36
7月	1	2	6	2	1	3	3	18	2.36
8月	1	1	6	4	1	2	4	19	2.45
9月	1	1	5	4	2	2	4	19	2.56
10月	1	1	7	3	2	2	4	20	2.43
11月	0	1	7	3	3	2	3	19	2.42
12月	1	1	6	3	3	1	3	18	2.31
1月	1	2	6	3	3	1	3	19	2.24
2月	0	1	5	2	4	2	3	17	2.64
3月	0	1	6	3	4	2	3	19	2.52
平均	0.75	1.42	6.00	2.75	2.00	2.17	3.25	18.3	2.41

要支援1:0.73

要支援2:0.89

3 平成29年度事業計画に対しての取り組みと結果

〔1〕運営の方針については、利用者の人格の尊厳、人権の尊重を最優先に自立した日常生活が送れるよう又、その人らしくゆとりと安らぎに満ちた生活が送れるよう、下表の行事を実行する事を中心に支援した。

月	年 間 行 事
4月	お花見【鮎屋の滝】(5日・8名、6日・4名)
5月	広田小中運動会見学(27日・11名)
6月	【ええとこどり】(6/27・4名)外食会【はま寿司】(6/28・4名、6/29・4名)
7月	七夕祭り(7/7・12名)
8月	夏祭り(8/10・16名)
9月	敬老会(9/20・13名)
10月	運動会(10/11・14名)
11月	南あわじ市文化展出品・見学(11/1・7名、11/2・4名)
12月	クリスマス会(12/23・11名)
	もちつき会(12/26・17名)
1月	新年会(インフルエンザ発症者あり中止)
2月	豆まき会(2/2・13名)
3月	広田梅林散策(3/6・4名)
	ひな祭り会(3/3・13名)

[2]ひやりハット報告

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	0	0	1	0	1	1	3	2	0	1	0	2	11
転落	0	0	1	3	0	2	1	0	0	0	0	0	7
内出血	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
剥離	0	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	6
打撲	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
異食	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
紛失	0	0	0	4	3	2	2	1	1	0	2	0	15
連絡	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	5
送迎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療	1	0	1	4	0	2	4	1	4	2	1	4	24
送迎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
調理	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
言動	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	4
怪我	1	0	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0	6
苦情	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3
その他	1	0	2	3	3	4	2	0	4	3	2	2	26
合計	3	1	8	22	9	14	20	4	10	6	5	12	114

[3]事故報告(市への報告事故)状況

	事故発生日	原因	事故内容	性別	受診先	入院の有無
1	平成29年12月4日	転倒	骨盤骨折	女	翠鳳第一病院	有

[4]その他

- ・ボランティアの受入れ(夏祭り:老人会さわやかサークル、敬老会:山添なかよし会、朗読:グリーンポエム)
- ・広田中田地区の防災訓練に参加できた。広田小中保合同避難訓練は、インフルエンザ発症者がでたため参加できなかった。
- ・地域の営農団体等主催のさつまいもオーナーになり植え付けから収穫まで利用者と一緒に参加できた。
- ・夏祭り終了後に、家族の皆様にご意見やご要望をうかがう機会を設けることができた。
- ・運営推進会議は、年6回実施。又、運営推進会議を活用した外部評価では、運営推進会議委員から公正・中立な第三者の意見・評価を頂いた。
- ・緑地区地域ケア会議に出席し地域のニーズ把握、地域の関係者との連携を図ることができた。
- ・車椅子等で病院に行けない方を送迎(同行)している。主治医へは看護師から情報提供書を作成して医療関係機関と連携を図って健康維持に努めた。
- ・個々の生活の中で、野菜作り及び収穫・洗濯たみ・裁縫・おやつ作り・掃除・調理を職員と一緒に行うことで機能の減退を防止するよう努めた。

年間行事報告



5月  
お花見【鮎屋の滝】



5月  
広田小中運動会



6月  
外食会【はま寿司】



7月  
七夕祭り



8月  
夏祭り【さわやかサークル】



9月  
敬老会【山添なかよし会】



10月  
運動会



11月  
緑文化展見学【緑市民センター】



12月  
クリスマス会



12月  
もちつき会



2月  
豆まき会



3月  
広田梅林散策



3月  
ひな祭り会

## VI 居宅介護支援事業

### 1 施設の概要

[1] 名 称	社会福祉法人 緑風会 緑風館
[2] 所 在 地	兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
[3] 開 設	平成11年10月1日
[4] 設 置 運 営	社会福祉法人 緑風会
[5] 併 設 施 設	特別養護老人ホーム 緑風館

### 2 新規登録者数

区 分	28年度	29年度												合計	平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
要支援 (1,2)	23	3	3	6	3	3	1	2	2	2	5	0	3	33	2.8
要介護 (1~5)	20	2	4	1	2	4	6	1	0	2	2	5	1	30	2.5
合計	43	5	7	7	5	7	7	3	2	4	7	5	4	63	5.3

### 内訳

区 分	28年度	29年度												合計	平均	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
要支援	23	3	3	6	3	3	1	2	2	2	5	0	3	33	2.8	
要介護	直接 依頼	9	2	1	1	1	2	3	1	0	0	0	2	0	13	1.1
	要 支援 から 変 更	8	0	1	0	1	2	1	0	0	1	2	0	0	8	0.7
	他 から 変 更 所	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0.3
	連 携 か ら 依 頼	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	6	0.5
合 計	43	5	7	7	5	7	7	3	2	4	7	5	4	63	5.3	

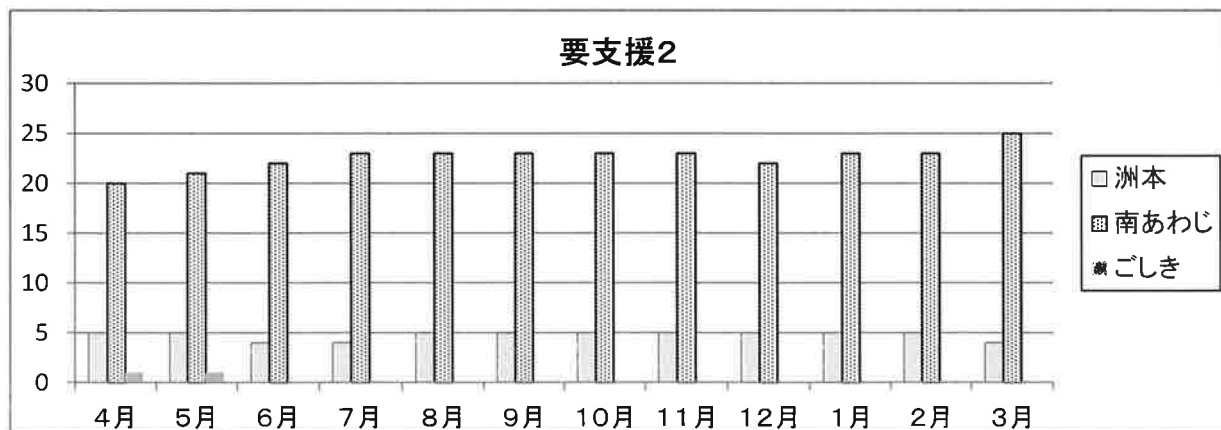
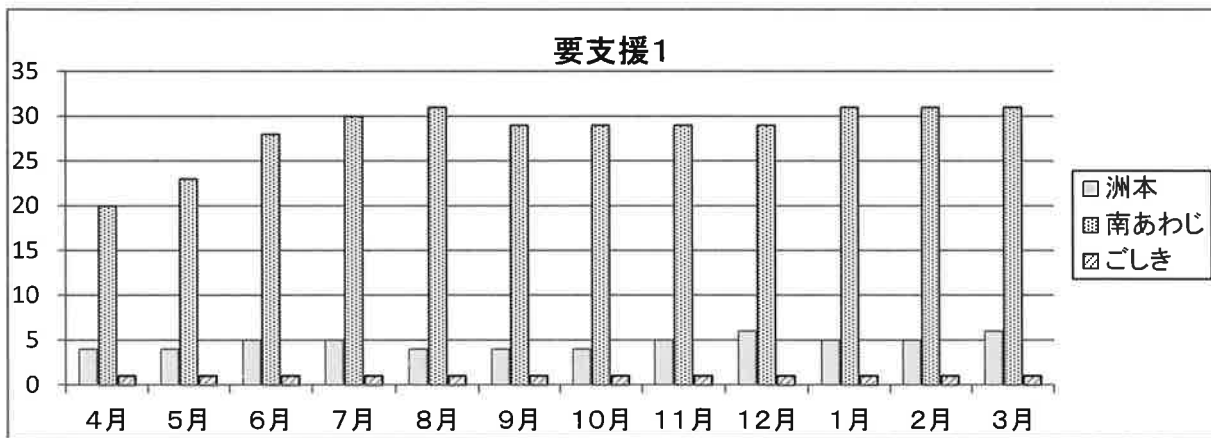
### 3 予防給付プラン作成実績

(件)

区分	28年度	29年度													合計	平均	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
予防プラン	要支援1	洲本	46	4	4	5	5	4	4	4	5	6	5	5	6	57	4.8
		南あわじ	213	20	23	28	30	31	29	29	29	29	31	31	31	341	28.4
		ごしき	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	要支援2	洲本	42	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4	57	4.8
		南あわじ	224	20	21	22	23	23	23	23	23	22	23	23	25	271	22.6
		ごしき	12	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
合計	549	51	55	60	63	64	62	62	63	63	65	65	67	740	61.7		
	(147)	(10)	(11)	(13)	(12)	(12)	(12)	(11)	(11)	(11)	(13)	(13)	(13)	(142)	(11.8)		

※ 括弧内数字は、保険外サービスを組み合わせたケアプラン作成数(内数)である。

※ 保険外サービスには、配食サービス、ふれあいいきいきサロン、ミニデイサービス、緊急通報システム等のサービスを組み合わせた。





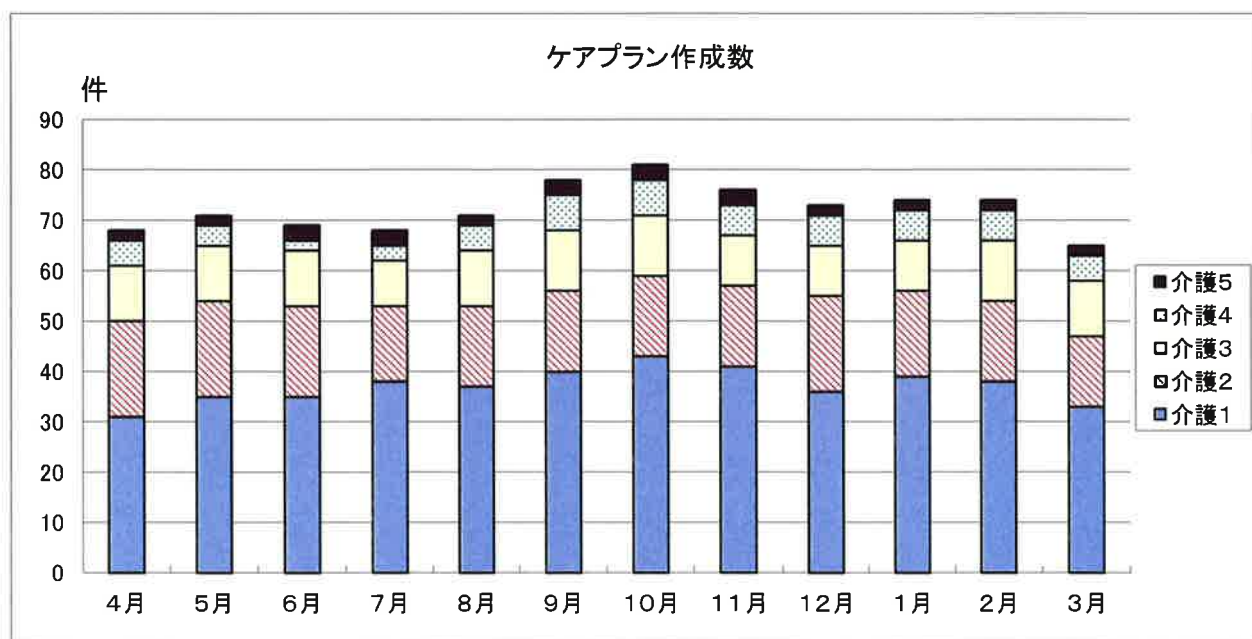
#### 4 介護給付ケアプラン作成実績

(件)

区分	28年度	29年度												合計	平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
要介護1	456	31	35	35	38	37	40	43	41	36	39	38	33	446	37.2
要介護2	256	19	19	18	15	16	16	16	16	19	17	16	14	201	16.8
要介護3	149	11	11	11	9	11	12	12	10	10	10	12	11	130	10.8
要介護4	30	5	4	2	3	5	7	7	6	6	6	6	5	62	5.2
要介護5	18	2	2	3	3	2	3	3	3	2	2	2	2	29	2.4
合計	909 (138)	68 (8)	71 (8)	69 (7)	68 (7)	71 (7)	78 (7)	81 (7)	76 (7)	73 (7)	74 (7)	74 (9)	65 (8)	868 (89)	72.3 (7.4)

※ 括弧内数字は、保険外サービスを組み合わせたケアプラン作成数(内数)である。

※ 保険外サービスには、配食サービス、ふれあい・いきいきサロン、外出支援サービス  
ミニデイサービス、緊急通報システム等のサービスを組み合わせた。



## 5 認定調査実績

(件)

洲本市	28年度	29年度												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
在宅	34	3	2	5	3	5	2	2	3	3	6	6	10	50
自施設	11	2	0	0	2	0	0	2	1	1	0	0	0	8
他施設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	46	5	2	5	5	5	2	4	4	4	6	6	10	58

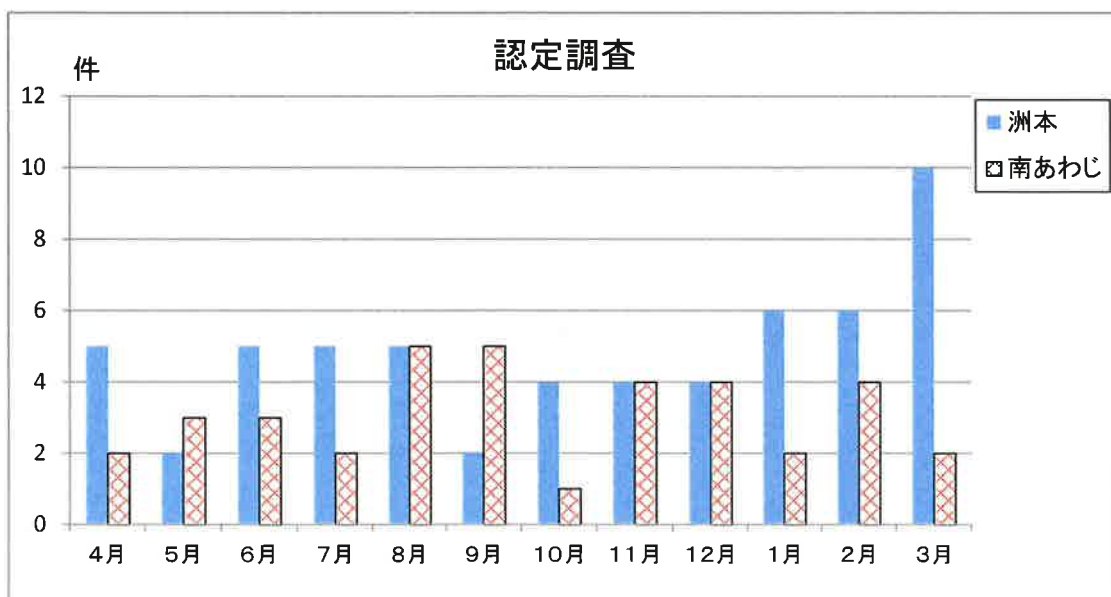
(件)

南あわじ市	28年度	29年度												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
在宅	24	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	0	20
自施設	16	0	2	1	0	3	3	0	2	2	0	2	2	17
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	40	2	3	3	2	5	5	1	4	4	2	4	2	37

\* 南あわじ市においては、23年度から市の調査員が調査を行う方針となり、調査件数が減少が継続。

南あわじ市へは、調査の依頼をしている。調査員の登録ができる職員には、積極的に働きかけている。

\* 洲本市においては、ほぼ平均しての依頼がある。





## 6 加算状況

(件)

区分	29年度													合計	
	28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
予防プラン	初回	24	3	3	6	3	3	1	2	2	2	5	0	3	33
	小規模連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護プラン	初回	22	2	3	1	2	2	7	4	0	4	2	2	1	30
	医療連携Ⅰ	6	1	2	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	8
	医療連携Ⅱ	24	1	1	3	0	2	1	1	4	2	5	2	1	23
	退院	21	0	2	0	3	1	1	1	0	0	1	1	1	11
	緊急時等居宅カンファレンス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	複合型サービス連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定事業所Ⅱ	908	68	71	69	68	71	78	81	76	73	74	73	65	867
合計	1005	75	82	79	76	79	88	90	83	81	89	79	71	972	

### ※ 加算の説明について

初回 : 初めてのサービス利用開始、または要介護度区分が3段階以上の変更認定、または3か月以上サービス利用していない場合で利用再開

1回あたりの単価  $¥3,000 \times 30名 = ¥90,000$

初回加算該当者であって、退院加算の算定者6名いた。(同時算定不可)

医療連携Ⅰ : 入院時に、医療施設へ訪問し、在宅での状況について情報提供を行った場合

1回あたりの単価  $¥2,000 \times 8名 = ¥16,000$

医療連携Ⅱ : 入院時に、医療施設へ訪問以外の方法で、在宅の状況について情報提供を行った場合

1回あたりの単価  $¥1,000 \times 23名 = ¥23,000$

退院 : 退院時に医療施設と連携をとった場合

1回あたりの単価  $¥3,000 \times 11名 = ¥33,000$

特定事業所 : 主任介護支援専門員を配置。24時間連絡体制を確保し、必要に応じて相談に対応する。

加算Ⅱ 1件あたりの単価  $¥3,000 \times 867件 = ¥2,601,000$

\* その他の加算に関しても、利用者の状態に応じて算定を行った。

\* 連携に関しては、利用者・家族の承諾のもとで行い、その後のサービス調整にも繋がった。

## 7 平成29年度の事業計画に対しての取り組みと結果

- [1] ・利用者や家族からケアプランの見直しなどの要望があった場合、迅速に対応してケアプランの変更を行った。  
今年度は、18名の内容を変更。状態の変化により、サービス内容の変更や追加を行った。  
又、介護保険外のサービスについても説明し、要介護者89件(延べ)、要支援者142件(延べ)の計画作成を行った。  
・入院・退院時には、医療機関の訪問や電話連絡等で連携を図り、退院後の在宅生活が安全に送れるようにサービス等の調整を図り、11名の計画作成を行った。
- [2] ・かかりつけ医との連携に関しては、体調の急変時などに訪問、電話等で連絡・調整を図った。  
また、利用者ご本人や家族を通じて情報交換を行ったり、了解のもと受診時に付き添い、かかりつけ医と顔の見える連携を図った。  
退院前のカンファレンスには、状況により参加して頂き、状況把握・連携を図った。
- [3] ・利用者の家族や当法人職員からの相談に対し、制度の説明や申請代行等を行うことで良好な関係を築き、適時の介護サービスを利用することで、在宅生活が継続できるよう支援した。  
・月平均実績として、要介護者72.3件(前年比、3.5件減)、要支援者 61.7件(前年比、16件増)の居宅介護支援を提供できた。  
・今年度は、介護の新規依頼が昨年より20件多くあった。要支援は、33件の新規依頼あり、要介護は、30件の新規依頼があった。軽度の認定者が多く、介護度が高い利用者は、状態の変化もあり、施設への入所や入院への移行が多く、継続支援が難しい。  
・地域包括支援センターからの紹介等あり、件数は増加した。
- [4] ・困難ケースに関しては、地域包括支援センターや他のサービス事業者と連携を図り、早急に介護サービス提供へと繋ぎ、居宅介護支援を行った。  
サービス事業所との情報交換も毎月行っており、良好な関係を築いている。  
・24時間連絡体制を整備し、これを周知することで、利用者・家族からの要望にいち早く対応することができた。
- [5] ・週1回のミーティングを実施することで、困難ケースを事業所全体でカバーできる体制を整えている。  
困難事例等については、その都度、事業所内での検討を行い、必要に応じて地域包括支援センターに相談しサービスに反映させていった。  
・毎月開催される南あわじ市と洲本市の介護支援専門員連絡会へ22回出席し、最新の介護保険情報や事業所の情報、地域の情報収集に努めている。また、他事業所の介護支援専門員とも情報交換を行い、居宅介護支援に反映させた。

## V 在宅介護支援センター

### 1 施設の概要

〔1〕名	称	緑風在宅介護支援センター
〔2〕所	在 地	兵庫県南あわじ市広田中筋1025-19
〔3〕開	設	平成6年6月27日
〔4〕設	置 運 営	社会福祉法人 緑風会
〔5〕併	設 施 設	特別養護老人ホーム 緑風館

### 2 活動実績

区 分	28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
活動日数	開所日数	256	17	22	23	22	14	13	23	22	23	19	20	20	238 日
	訪問回数	97	6	5	5	6	1	3	9	8	8	19	23	13	106 回
	会 議	39	2	3	4	3	2	1	2	3	4	3	3	5	35 件
	家 族 会	6	0	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	5 件
	出前指導	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件
	新 規 出前指導	18	0	2	1	2	1	0	3	1	1	0	3	0	14 件

※ 訪問回数は、相談依頼への対応と、市依頼の配食サービス、紙オムツ補助のアセスメント調査である。

※ 出前指導は2回目以降の認知症サポーター養成講座、新規出前指導は初回の認知症サポーター養成講座である。

### 3 会議の内訳

区 分	28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
地域包括在介 連絡会	10	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	10
その他の会議	9	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	2	6
合 計	19	1	1	2	2	1	0	1	1	2	1	1	3	16

※ 上表以外では、緑地区民生委員会と緑地区地域ケア会議は毎月出席している。

※ その他の会議は、各在宅介護支援センターとの打ち合わせ会議、研修などである。

#### 4 相談会・出前指導の内訳

(件)

区 分	28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
いきいき百歳体操	18	1	3	2	1	0	0	1	1	0	0	1	0	10
認知症サポーター養成講座	20	0	2	1	2	1	0	3	1	1	1	3	0	15
合 計	38	1	5	3	3	1	0	4	2	1	1	4	0	25

#### 5 調査訪問内容別実績

(件)

区 分	28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
オムツ調査	23	2	0	1	0	0	0	1	1	1	7	8	5	26
配食調査	21	0	1	0	2	0	0	2	1	1	5	8	1	21
継続見守り	55	4	4	4	4	1	3	6	6	6	7	7	7	59
合 計	99	6	5	5	6	1	3	9	8	8	19	23	13	106

#### 6 平成29年度 事業計画に対する取り組みと結果

##### [1] 出前指導として認知症に対する地域住民への正しい理解の普及

市内在宅介護支援センター4事業所と協力し、「認知症サポーター養成講座を開催、また新聞やケーブルテレビのメディアを利用した普及活動を行ない、認知症に対する理解を積極的にアピールした。結果、地域の団体から講座依頼があり、認知症サポーターが増え、今年度は中学生を中心に講座を開き、学生に対しても認知症の理解が広まった。



(西淡中学校)

##### [2] 地域住民からの相談に対する窓口機能

各地区のいきいき百歳体操を支援する中で、生活の中での困りごとを聞き取り、支援サービスに繋げたり、民生児童委員の定例会に参加することで、民生委員と協力して高齢者支援を行う。など、身近な高齢者の窓口としての機能を発揮でき、サービスや見守り体制を強化することができた。今年度は15件あり、地域包括支援センターや民生委員から相談があり、介護保険の説明や申請代行をした。



(倭文公民館のいきいき百歳体操)

### [3] 地域ケア会議の充実について

高齢者の独り暮らしや高齢者世帯だけでなく、家族といっても気になるような家庭があれば、議題になり、その後、適切に対応することができた。また、民生委員が毎月交代で出席することで、より身近な高齢者の課題を議論できる場となり、病院や社協、ケアマネ、みどりの家などと情報共有でき、検討した人に何かあった時はすぐに対応することができるようになった。



(みどりふれあい福祉のつどい)

### [4] 家族会の継続支援について

南あわじ市の認知症を支える家族の会(スマイル)は、参加者が自主的に運営できた。互いに協力し合い、いろいろな話の中から、介護についての悩みや癒し、工夫などを共有できるようになってきた。毎月1回定例会とは別に、認知症カフェを運営。認知症に関することを知りたい人なら誰でも参加できる場所となっている。専門職は側面的な支援を行った。介護をしている家族同士が交流できる場を設けることで、日頃の悩みや工夫を共有できる機会となっている。



(家族会定例会)

## Ⅷ 地 域 交 流 実 績

区分	ボランティア名(敬称略)	内 容	人 数
4月	ビハーラとも	お話し相手	9
5月	ビハーラとも	お話し相手	9
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	5
6月	ビハーラとも	お話し相手	11
	倭文小学校	交流会	訪問
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	3
7月	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	2
	倭文保育園	七夕祭り	33
	ビハーラとも	お話し相手	11
	ビハーラとも	納涼祭	22
	楽衆～輪～	納涼祭	15
	賀集十二志会	納涼祭	18
	倭文中学校音楽部	納涼祭	14
	淡路三原高校和太鼓部	納涼祭	16
	パナソニック かけはし連	納涼祭	10
	社協ボランティア	納涼祭	4
	元職員	納涼祭	3
	福祉用具業者ボランティア	納涼祭	2
	8月	広田少年野球クラブ	清掃奉仕
調理ボランティア		行事(喫茶コーナー)	3
9月	琴伝流大正琴 琴成会	敬老会行事	8
	ビハーラとも	お話し相手	10
	南あわじ市敬老会	敬老会式典	訪問
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	3
10月	ビハーラとも	お話し相手	10
11月	倭文小学校・中学校	ふくちゃん祭り	訪問
	広田中学校	文化祭	訪問
	南あわじ市老人クラブ連合会	友愛訪問(唄、踊り)	20
	みどりふれあい福祉のつどい	市民祭り	訪問
12月	ビハーラとも	お話し相手	8
	伊達 節子他	もちつき	2
	倭文少女バレークラブ	もちつき	5
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	2

1月	CHIZURU	新年会行事・歌とギター	2
	ビハーラとも	お話し相手	8
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	3
2月	ビハーラとも	お話し相手	9
	倭文保育園	まめまき会行事(唄、踊り)	18
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	3
3月	南淡琴同好会	ひなまつり会行事(琴演奏)	3
	松尾貴臣ライブ	ホスピタルライブ	1
	ビハーラとも	お話し相手	9
	藤江 キヨエ	マッサージ	1
	調理ボランティア	行事(喫茶コーナー)	3

合計 334人